

事務連絡
令和7年3月31日

各 { 都道府県
市区町村 } 障害保健福祉
児童福祉 担当課室 御中
母子保健

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活・発達障害者支援室
こども家庭庁育成局母子保健課
こども家庭庁支援局虐待防止対策課
こども家庭庁支援局家庭福祉課

障害者が希望する「結婚・出産・子育て」支援に関する
リーフレット及び解説動画について

日頃から、障害者の希望を踏まえた結婚、出産、子育てに係る支援の推進にご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

結婚、出産、子育てを含め、障害者が希望する生活の実現に向けた支援の取組の推進については、「障害者の希望を踏まえた結婚、出産、子育てに係る支援の推進について」（厚生労働省・こども家庭庁連名通知）を令和6年6月に発出し、関係部局による連携した支援体制の構築を求めるとともに、結婚・出産・子育て支援取組事例集の周知を行ったところです。

今般、さらなる周知を図るため、本通知について、自治体や事業者、支援者が理解し、障害当事者の方への適切な支援を行うことを目的とした解説動画の作成や、取組事例集について当事者の方にも理解しやすいイラストや伝わりやすい文章に編成したリーフレットを作成したため、各都道府県・市区町村におかれては、本通知、解説動画及びリーフレットを関係各所へ周知いただくとともに、積極的に活用いただくことにより、障害者の希望を踏まえた結婚、出産、子育てに係る支援の一層の推進をお願いします。

【掲載先（厚生労働省 HP 内）】

「障害者の希望を踏まえた結婚、出産、子育てに係る支援の推進について」

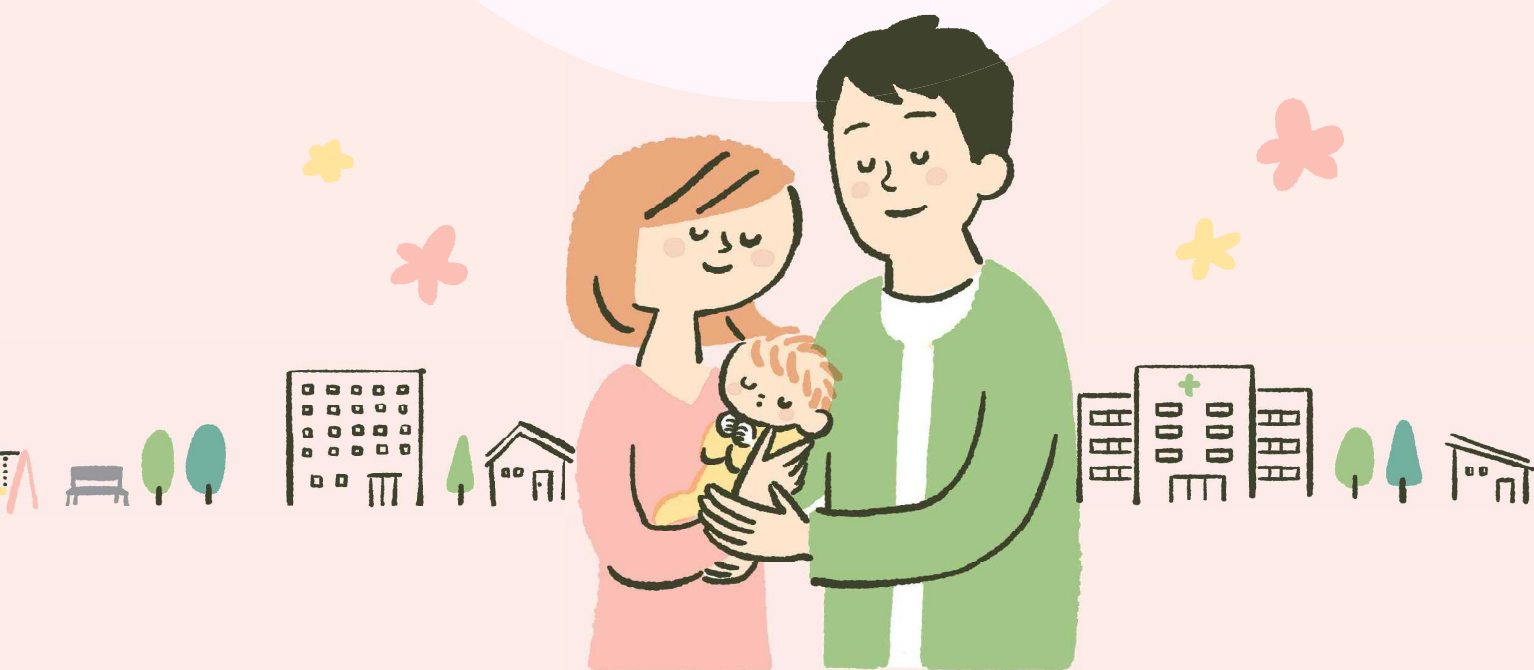
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisahukushi/other/index_00002.html

しょうがいしゃ きぼう
障害者が希望する

けっこん しゅっさん こ そだ
「結婚・出産・子育て」
しえん
支援

とりぐみじれいしゅう
取組事例集

ばん
わかりやすい版



こうせいろうどうしょう かていちよう
厚生労働省・こども家庭庁

目次

1	出会いや結婚、子育てなどを支援する 取り組みの例	4
2	結婚、子育てなどの相談にのりながら 支援する取り組みの例	10
3	グループホームで子育てを支援する 取り組みの例	16
4	相談支援とホームヘルプ、 役所などが協力する取り組みの例	22
5	相談支援とホームヘルプなどが協力する 取り組みの例	26
6	障害のある親も その子どもも 家族全体を支援する取り組みの例	30
7	役所が いろいろな 福祉施設と協力して 支援する取り組みの例	36

はじめに

あなたは どんなふう^くに 暮^くらしたいですか？

どんなふう^くに 暮^くらすかは、自分^{じぶん}で 選^{えら}ぶことが できます。

たとえば、グループホームで 暮^くらす人^{ひと}も いれば、

アパートの部屋^{へや}を借りて 暮^くらしている人^{ひと}も います。

また、一人^{ひとり}暮^くらしをしている人^{ひと}、

好きな人^すと2人^{ふたり}で暮^くらしている人^{ひと}、

子ども^こを育てている人^{そだ}も います。

「障^{しょう}害^{がい}があると できない」なんてことは ありません。

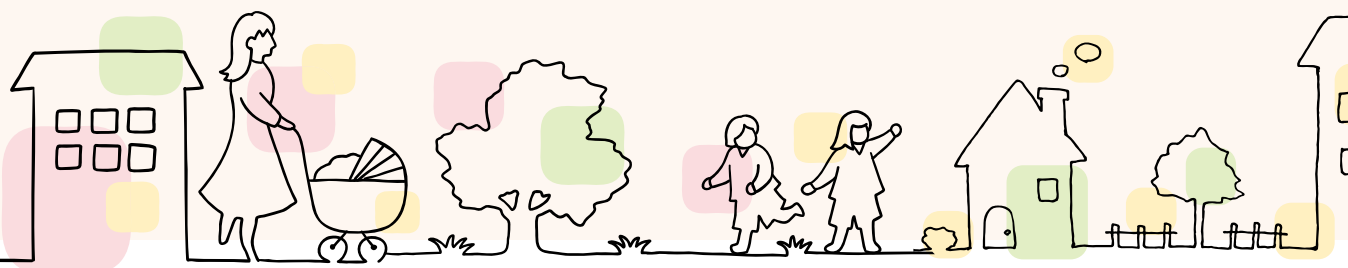
恋人^{こいびと}を探^{さが}したり 付^つき合^あったりするとき、

いっしょに暮^くらすときや 結^{けっ}婚^{こん}するとき・結^{けっ}婚^{こん}した後^{あと} など、

支^し援^{えん}者^{しゃ}が サポ^さートしてくれ^くることが あります。

子^こ育^{そだ}ても 福^ふ祉^{くし}サービ^さスや 母^ぼ子^し保^ほ健^{けん}サービ^さスで

手^て伝^つだ^だってもらえる仕^し組^くみが あります。



さらに、役所^{やくしょ}の人たち^{ひと}や 地域^{ちいき}の人たち^{ひと}が
協力^{きょうりょく}してくれることも あります。

どんなふう^くに 暮らすかを いきなり 自分^{じぶん}で 選ぶ^{えら}のは
むずかしいかもしれません。

なので、支援者^{しえんしゃ}たちは
「これ^{えら}を選ぶと こんなふうになるでしょう」
といったことを説明^{せつめい}したり、
あなたが いろんな暮らし^くかたを 試^{ため}してみるのを
手伝^{てつだ}ったりします。

そのようにして、あなたが 自分^{じぶん}で 選ぶ^{えら}んでいくことを
支援^{しえん}します。

この冊子^{さっし}では、障害^{しょうがい}のある人の 結婚^{けっこん}や
子ども^こを産^うんで育て^{そだ}ることなどを
支援^{しえん}しているいろいろな法人^{ほうじん}の取組^{とく}みを 紹介^{しょうかい}します。



1

で あ けっ こん
出会いや結婚、

こ そ だ し え ん
子育てなどを支援する

と く れ い
取り組みの例

かんけい ふくし
関係する福祉サービス

グループホーム、
じりつせいかつえんじょ
自立生活援助など



れんあい けっこん せんもんてき ささ 恋愛や結婚などを 専門的に支える

ほうじん ち て きしょうがい ひと
ある法人では、知的障害のある人たちの

れんあい けっこん こそだ
恋愛や結婚、子育てなどについて

どくじ しえん
独自の支援をしています。

ほうじん しえん う ひと
いま この法人で 支援を受けている人は

すうひやくにん
数百人います。

すうじゅっくみ
そのうち、カップルは 数十組、

けっこん せいかつ ひと
結婚したり パートナーと生活している人も

すうじゅっくみ
数十組います。

なんにん こ
また、何人かは 子どももいます。

ほうじん れんあい けっこん
この法人には、恋愛や結婚などを

せんもん しえん しょくいん なんにん
専門に支援している職員が何人か います。



こんな取り組みも しています

☑ デートするときのマナーや「性」について
 べんきょう こうざ
 勉強する講座

☑ 「恋活」イベントや 子育てしている
 かぞく こうりゅうかい
 家族の交流会

☑ 恋愛や結婚などについての悩み相談
 れんあい けっこん なや そうだん

この法人では、このようなイベントを
 ねん かい
 1年に30回くらい おこなっています。





し え ん し ゃ つぎ し え ん
支援者は、次のような支援もおこないます。

☒ れ ん あ い け っ こ ん そ う だ ん
恋愛や結婚などについての相談にのる

☒ け っ こ ん
結婚するときには
お 互 い の 家 族 に 会 う と き の 支 援 を す る

☒ こ そ だ し え ん
子どもを育てる支援をして、
こ せ い ち ょ う み ま も
子どもの成長を いっしょに見守る

し えん う ひ と れ い 支援を受けた人の例

だんせい さいだい ちてきしょうがい
男性(30歳代、知的障害)と

じょせい さいだい ちてきしょうがい
女性(20歳代、知的障害)

だんせい
男性は もともと

グループホームで 暮らしていました。

じょせい
女性といっしょに暮らすために、

グループホームを出ました。

じょせい
女性といっしょに暮らしてから、

し えん し ゃ しゅう かい いえ き
支援者が 週に1回 家に来て、

そうだん
相談にのったりしています。

男性の話

女性と出会った後に

ボーリングや食事会、映画など

3回くらいイベントに参加して、

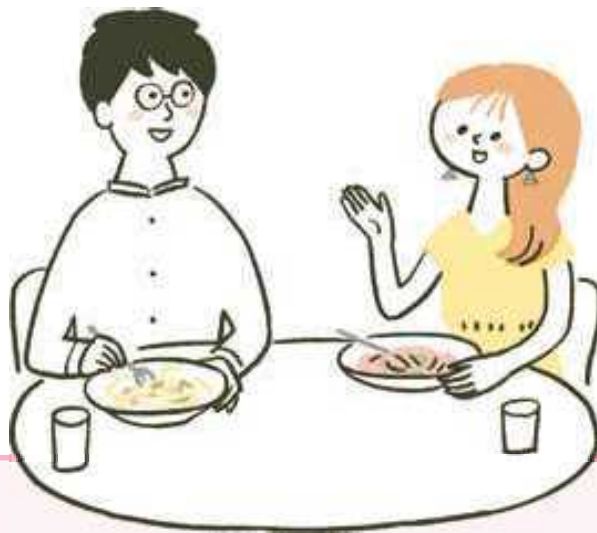
仲が深まりました。

自分たちだけでは 出会いなどは

難しいと思います。

最初に出会ってから 付き合うまで、

支援は大事だと思います。



2

けっこん こそだ
結婚、子育てなどの

そうだん
相談にのりながら

し えん と く れい
支援する取り組みの例

かんけい ふくし
関係する福祉サービス

しょうがいしゃしゅうぎょう せいかつしえん
障害者就業・生活支援センター、
いたくそうだんしえんじぎょうしょ
委託相談支援事業所など



望^{のぞ}む暮^くらしができるように支^さえる

ある法人^{ほうじん}では、望^{のぞ}む暮^くらしについて

支援者^{しえんしゃ}が相談^{そうだん}にのって 支援^{しえん}をしています。

結婚^{けっこん}や子育て^{こそだ}のほか、

「一人^{ひとり}暮らしをしたい」

「ご飯^{はん}を 自分^{じぶん}で作^{つく}って 生活^{せいかつ}したい」などの

相談^{そうだん}にのっています。

近所^{きんじょ}には、

結婚^{けっこん}や子育て^{こそだ}をした障害^{しょうがい}のある人^{ひと}が 多^{おほ}くいます。

これから結婚^{けっこん}や子育て^{こそだ}をしたいと思^{おも}っている人^{ひと}の

参考^{さんこう}になっています。

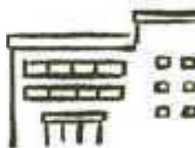
子育て^{こそだ}をしている家族^{かぞく}の家^{いえ}に支援者^{しえんしゃ}と行^いって、

暮^くらしを見^みたり、話^{はなし}を聞^きいたりもしています。



こんなことに ^き気をつけています

- ☑ ^{こ そだ}子育てを^{し えん}支援するときには、
^{ち い き}地域の^{ひと}人たちや
いろいろな^{き か ん}機関・^{ひと}サービスの^{ひと}たちと
^{きょうりょく}協力します。
- ☑ ^{き か ん}機関や^{つか}サービスを使うかどうかは、
^{しょうがい}障害のある^{ほんにん}本人が^き決めるようにします。



☑ ^{ち い き}地域のなかで

^{こ そ だ}子育てを ^{さ さ}支える ^{き か ん}機関・サービスに

どんなものがあるかを ^{しら}調べて、

^しお知らせします。

^{けん が く}見学などに ^い行くときには、

^{し え ん し ゃ}支援者が ^{つ そ}付き添うことも しています。



支援を受けた人の例

男性(40歳代、身体障害・知的障害)と

女性(40歳代、知的障害)、

子ども1人(中学生)

子どもが生まれた後、

ホームヘルパーや地域のボランティアの人、

地域の保健師が

家に行って支援をしました。



ボランティアの人は、

初めての2週間は週に5日、

そのあと子どもが保育園に入るまでは

週に2、3日家に行きました。

ホームヘルパーも、

初めての2週間は週に5日家に行きました。

そのあと6年間、週に2、3日家に行って、

子育てのしかたを教えたり、

子どもをお風呂に入れる手伝いや

着替えの準備、離乳食づくりなどを

夫婦ができるように支援しました。

3

グループホームで

こ そ だ し え ん
子育てを支援する

と く れ い
取り組みの例

かんけい ふくし
関係する福祉サービス

グループホーム



知的障害のある人の子育てを支援する

ある法人が グループホームとして

借りている部屋には、

子育てをしている家族が 暮らしています。

職員は ときどき部屋に行って 家族を見守り、

暮らしについてアドバイスしたり

お金の管理などを 支援したりしています。

子育ては、基本的に親たちが自分でしています。

子育てを支援するサービスを使ったりするときには、

職員が手助けしています。

グループホームから出たいと思ったら、

家を探したりするのを 職員が支援します。



こんな取り組みも しています

- ☑ 子どもが小学校に入る前くらいまでは、
地域の保健師が グループホームに来て、
子育てについてのアドバイスをしています。
役所の家庭児童相談室の職員が
来ることも あります。



しょくいん 職員たちは つぎ 次のような し え ん 支援を

おこなっています。

☒ か ぞ く へ や おとず 家族の部屋を訪れ、アドバイスをする

☒ こ ぼ い く じ ょ い 子どもを保育所に入れるときなどに
て つ づ し え ん 手続きを支援する

☒ こ が っ こ う ほ ぐ し や め ん だ ん 子どもの学校での保護者面談に
い っ し ょ に 行 く いっしょに行く

支援を受けた人の例

男性(30歳代、知的障害)と

女性(30歳代、知的障害)、

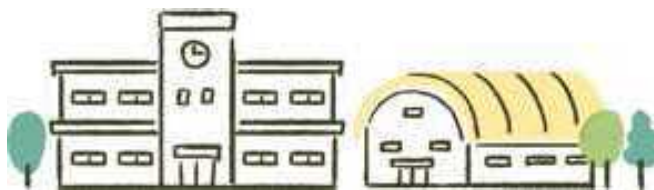
子ども1人(小学生)

子どもの親2人の話

役所の家庭児童相談室の職員に

月に1回来てもらい、

相談にのってもらっています。



こ　　がっこう　　めんだん
子どもの学校との面談にも

き
いっしょに来てくれて、

たん　にん　せんせい　はなし　くわ
担任の先生との話にも加わってくれます。

しょうらい　　で
将来はグループホームを出て

く
暮らしたいです。

ふ　あ　ん
不安はありますし、

むずか　　おも
すぐには難しいと思いますが、

じりつ　　く
自立した暮らしをしてみたいです。



4

そう だん し え ん
相談支援とホームヘルプ、

やく し ょ きょうりょく
役所などが協力する

と く れ い
取り組みの例

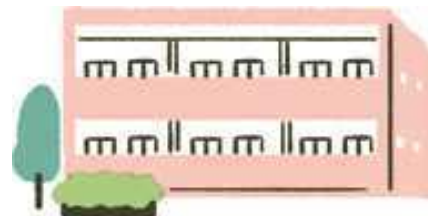
かんけい ふくし
関係する福祉サービス

いた く とく てい そう だん し え ん じ ぎ ょ う し ょ
委託・特定相談支援事業所



福祉サービスと役所で

協力して支援する



相談支援事業所は、

福祉サービスについて 相談にのったり、

手続きの手伝いをするところです。

ある相談支援事業所では、

2組の家族の子育てを 支援しています。

子育てを支援するために、

ホームヘルプのサービスや

役所の児童福祉の部署などと

協力しあっています。

支援を受けた人の例

男性(視覚障害)と

女性(30歳代、視覚障害・精神障害)、

子ども2人(小学校に入る前の子)

子どもを 保育園に送り迎えするのは
ホームヘルパーが おこなっています。

子どもの体調が悪かったりしたら、
ホームヘルパーが 相談支援事業所に
連絡することになっています。



また、相談支援事業所は

役所の児童福祉の部署に相談して

協力を頼んでいます。

たとえば、役所の人か家族の家に行って

アドバイスをしたり、

子育て支援サービスなどについて

説明したりしました。

役所の人しょうがいねんきんについて

説明するときには、

相談支援事業所の人

いっしょに行きました。



5

相談支援と

ホームヘルプなどが協力する

取り組みの例

関係する福祉サービス

特定相談支援事業所・自立生活援助



いろいろな福祉サービスが

協力して支援する

ある法人では、

相談支援や 暮らしのアドバイスをするほか、

ホームヘルプで 家事や子育てを

支援しています。

障害のある子どもを支援するのには、

障害のある子どもの相談支援事業所とも

協力しています。



支援を受けた人の例

女性(30歳代、精神障害)と

子ども3人(小学校に入る前の子1人、

小学生1人、中学生1人)

週に1回、法人の職員が家に行ったり、

精神科の病院に

一緒に行ったりしています。

電話で相談にのることもあります。

また、週に3回、ホームヘルパーが

掃除や料理、子どもをお風呂に入れるのを

手伝っています。

しょうがい こ
障害のある子どもには、
こ そうだんしえんじぎょうしょ ちゅうしん
子どもの相談支援事業所が中心になって
しえん
支援しています。

ちいき ほけんし
地域の保健師や

かていじどうそうだんじょ きょうりょく
家庭児童相談所などとも 協力して

おやこ しえん
親子を支援しています。

ほけんし つき かい
保健師は 月に1回くらい、

でんわ そうだん
電話で 相談にのっています。



6

しょうがい おや こ
障害のある親も その子どもも

か ぞく ぜん たい し えん
家族全体を支援する

と く れ い
取り組みの例

かんけい ふくし
関係する福祉サービス

いたく とくていそうだんし えんじぎょうしょ
委託・特定相談支援事業所など



親と子どもを分けないで支援する

ある法人では、

相談支援事業所や グループホームのほかに

子どもの支援をする施設や 保育所などもあり、

親も 子どもも 家族全体を 支援しています。

子育てをしている家族が

困ったときに 頼れるように、1年中 いつでも

電話がつながるようにしています。

もしも 家などに行って 助ける必要があることなら、

職員が すぐに かけつけます。

「話を聞いてもらって 安心した」

という人も います。





こんなとく取り組みも しています

☑ にんしん ひと そうだん 妊娠した人の相談にも のっています。

こ どもを う 産んだあとに

どのようなサービスやせいど 制度があるかを

せつめい 説明したりしながら、

にんしん ひと よ そ 妊娠した人に 寄り添っています。

そして、こ どもを う 産むかどうか

ほんにん き 本人が決めるのを ささ 支えています。



☑ ^こ子どもを^う産んだ人の中には、
^{じぶん}自分の^{おや}親、^こ子どもにとっての
おじいちゃん・おばちゃんに
^こ子どもを^{あず}預ける^{ひと}日を
つくっている人も います。
ファミリーホームに
^こ子どもを^{あず}預ける^{ひと}人も います。
ファミリーホームは、
^{なんにん}何人かの^こ子どもが^{いっしょ}一緒に^く暮らす^{しせつ}施設です。

☑ また、^{ようし}養子などとして
^{ほか}他の^{ひと}人に^{そだ}育ててもら^{ひと}う人も います。

し え ん う ひ と れ い 支援を受けた人の例

だんせい
 男性と

じょせい さいだい ちてきしょうがい せいしんしょうがい
 女性(40歳代、知的障害・精神障害)、

こ ふたり しょうがくせい
 子ども2人(小学生)

ホームヘルパーが しゅう かい き
 週に2回 来て、
 そうじ こ ふ ろ い
 掃除や 子どもをお風呂に入れるのを
 てっだ
 手伝っています。





2人の子どものうち、

年上の子どもは

平日は ファミリーホームにいます。

土日は 家に帰ってくることも あります。

年下の子どもは

ふだんは 家で 過ごしています。

週に2回は ショートステイで

施設で 過ごしています。

7

やく しよ
役所が いろいろな

ふく し し せつ きょうりよく
福祉施設と協力して

し えん と く れい
支援する取り組みの例

かんけい ふくし
関係する福祉サービス

じどうかていしえん
児童家庭支援センター

きかんそうだんしえん
基幹相談支援センター

かんけい やくしよ そしき
関係する役所の組織

ぼしほけん じどうふくしぶしよ
母子保健・児童福祉部署、

しょうがいふくしぶしよ
障害福祉部署



つき かい
月に1回



かい ぎ ひら し えん はな
会議を開いて 支援を話しあう

ち い き やくしょ
ある地域の役所では、

まいつき だい か よう び ご ご じ ぶん じ かん
毎月 第2火曜日の 午後1時30分から 2時間、

こ そだ し えん かい ぎ ひら
子育てを支援するための会議を 開いています。

じ どう か て い し えん
児童家庭支援センターや

き かん そう だん し えん
基幹相談支援センターなどの

しょく いん さ ん か
職員も 参加しています。

かい ぎ し えん ひつよう か ぞく
会議では、支援が必要な家族を

し えん
どのように支援していくか、

やくわり ぶんたん はな
役割分担を どうするかなどを 話しあいます。

ぶん や ふくし し せつ
そして、いろいろな分野の福祉施設が

きょうりよく し えん
協力しあって 支援しているのです。

やくしょ 役所が いろいろな福祉施設と協力して支援する
とく りく れい 取り組みの例



やくわりぶんたん
このような役割分担をしています

☑ じどうかていしえん
児童家庭支援センター

ちいき く こ かぞく
地域で暮らす子どもや家族の
そうだん
相談にのっています。

こうにんしんりし しかく ひと
公認心理師の資格をもった人が

カウンセリングをすることも あります。

☑ きかんそうだんしえん
基幹相談支援センター

き ひと そうだん
センターに来た人の相談にのったり、

でんわ らいん そうだん
電話や LINE で相談にのったりしています。

とく しえん ひつよう ひと
特に たくさんの支援が必要な人に

たいおう
対応しています。

☑ ^{やくしょ} 役所の^{しょうがいふくしぶしょ} 障害福祉部署

^{きかんそうだんしえん} 基幹相談支援センターの^{とく} 取り組みを

サポートしたり、

どのような^{しえん} 支援が^{すす} 進んでいるかを

^{はあく} 把握したりしています。

☑ ^{やくしょ} 役所の^{ぼしほけん} 母子保健・^{じどうふくしぶしょ} 児童福祉部署

^{ちいき} 地域で^こ 暮らす子どもや^{かぞく} 家族、

^{にんしん} 妊娠している人などの^{ひと} 相談に^{そうだん} のったり、

^{いえ} 家に行って^{しえん} 支援したりしています。



しょうがいしゃ きぼう
障害者が希望する
けっこん しゅっさん こそだ しえん
「結婚・出産・子育て」支援
とりくみじれいしゅう
取組事例集
わかりやすい版

わかりやすい版編集：一般社団法人スローコミュニケーション
デザイン：DeHAMA
イラスト：たかはしみどり
作成協力：PwCコンサルティング合同会社

※本冊子は、PwCコンサルティング合同会社「令和5年度障害者総合福祉推進事業 課題番号18 障害者が希望する地域生活を送るための意思決定支援等の取組に関する調査研究」で作成された「障害者が希望する「結婚・出産・子育て」支援 取組事例集」をわかりやすく編集したものです。

